



「あれれ もしかして！」

しんことに清香こども園 中居知子

対象児 4、5 歳児

ねらい 視聴を通して、普通の遊びの中にある面白さや不思議に気づき、思考力を育てる。

つなげたい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

声かけ例・予想される子どもの姿

指導上の留意点

●番組への導入・番組視聴の観点をもつ。

「今日がかんぺーちゃん達はどんなことをして遊ぶのかな？」

「楽しいことみつけたか見てみましょう」

○遊びに注目して見られるように声かけをする

○視聴後に使用できるように用意するもの

・三角の積み木と懐中電灯

・カード（ペープサート）の後ろ姿を黒く塗ったもの

●番組を視聴する

ざわざわえんのかんぺーちゃん 「あれれ もしかして！」



○視聴時のルールがあれば、みんなで確認しておく

●発問①

「かんぺーちゃん、ルンルン、モイクンは影ふみをして遊んでいたね。それから、「そらかげ」の日になって、空にできた影で遊んだね。」

「みんなは自分の影って見たことある？」

「影って何色？」

「影はどこで見たかな？」

「影ふみして遊んだことはある？」 など

○実際に子ども達が影ふみをした経験や影の色や見た場所などについて発言できる子が自由に発言することで、影について思い出したり、よくわからない子が「影ってなんだ？」と意識を向けたりできるようにする

●発問②

「今日のお話で見たがんぺーちゃんの影を思い出してみよう。」

「影はがんぺーちゃんがどんな格好していても同じだった？」

「影は伸びたり縮んだりするのかな？」

「二つの影が重なったらどうなるのかな？」 など

○前向きの時の影と横向きの時の影では形が違ったり、二つの影がくっいたらひとつの別な形の影になったり、影が重なったら重なったところが消えたりしていたことを思い出し、影の面白さや不思議さを共有する

●発問③

「がんぺーちゃんが影あてクイズでしていたように、三角の積み木の影を見てみよう。」

「(四角の影をみせて) どんな形がみえる？」

次は、「(三角の面にして) ここはどんな形？」

○室内を暗くして、懐中電灯で影を作る
○お話の中と同じ三角の積み木の影を実際に見せながら、影はどこから見るかで形が全然違うことを体験する

●発問④

「次はだれの影かを当ててみましょう。これは、今日のお話に出てきた誰の影でしょうか？」

「このあたり不思議な形はなんだろうね？」

「ここにこんな形があるね」など話しながらみんなで考える。

(最後に前向きにして答えを知らせる)

○ペーパーサートは、後ろ姿を黒く塗っておきます。使用するのはルンルンでもモイクンでもガメ先生でも良いです。クラスの子も達にも人気のものを使いましょう。

今日は、どこから見るかで影の形が違うものが沢山ありましたね。みんなの周りに他にもそういうものがあるか探してみましょう。それで影あそびをしてみたら楽しそうですね。影はお部屋の中でもできることがあるから試してみてください。

★先生方へのメッセージ

視聴後は影を見に外へ出かけて、影で色々あそんでみましょう。きっと子ども達は影ふみしたくなっていると思います。

発問③、④の代わりに、子ども達が普段目に見ている園の中のものを使って、先生が影あてクイズを出してみるのも面白いです。番組でがんぺーちゃん達が絵の具の筆やじょうろを使って影あてクイズを出したように、何の影をどんな角度から見せられるか、先生の腕の見せ所です。子ども達から沢山のあれれ もしかして? なんでなんで? 面白い! 不思議! が聞こえてきますように。

★保護者の方へのメッセージ 愛知淑徳大学 佐藤朝美

～『あれれ もしかして!』を通じて

「影の不思議と楽しさ」について、親子で語り合きましょう～

影ふみ遊びは、昔から変わらず、今も子どもたちにとって人気のある遊びです。

がんぺーちゃん、ルンルン、モイクんの3人は、太陽の位置が変わることによって自分たちの影がどのように変化するかに気づきます。そして、ガメ先生が「そらかげの日」という地面ではなく空に影が映る特別な日について説明してくれます。物語はファンタジーの世界に入り、がんぺーちゃんたちは、影が空に映るのを見て、驚きと喜びを感じます。ここで、みんなで一緒に影を見ながら遊びが発展していきます。まず、自分たちの影がいろいろな形になることや、物が重なると消えることを発見します。さらに、「影あてクイズ」を通して、異なる角度から見た物の影がどう変わるかを学びます。

おうちの方も影にまつわる体験の思い出をお持ちだと思います。お子さんと一緒に視聴し、影の不思議や面白さ、自然界の不思議を共有し、創造的な遊びへの興味を深め、観察力を養うきっかけにしてください。

以下のような声かけとポイントを参考にしてください。

1. がんぺーちゃんたちは楽しく遊んでいたね。どの部分が一番面白かった？

(親子で話し合う習慣を身につけましょう。)

2. がんぺーちゃんたちが見つけた影の不思議について、どう思った？影が空に映るって面白いね！

(お子さんが発見したことや気づいたことについて話し合しましょう。)

3. 今までに影ふみや影遊びをしたことはある？どんな影を作った？

(お子さんの経験を引き出しましょう。)

4. 面白い影を見つけてみようか。どんな形の影ができるかな？

(昼間の部屋で、または天気の良い日には外に出て、一緒に影を探しましょう!)

この物語をきっかけに、ぜひお子さんと一緒に遊んでみてください。外に出るのはもちろん、部屋の中で電気や懐中電灯を用いて影絵遊びをするのも良いでしょう。形だけでなく、ガラスのコップなど、影が薄くなるものを用いたり、手で影絵を作ったりすることからもいろいろな発見につながります。影絵遊びの定番、片手で簡単にできる「キツネ」から始めてみてはいかがでしょうか。1つの発見から生まれた不思議が次の不思議へとつながるワクワク感を体験しながら、原因と結果を理解する基礎的な科学的思考も育んでいけるといいですね！